

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	担 当 教 員
医学のための心理学	選択	2	1	後期	木・2	川崎 隆
【科目名の英文】 Psychology for Health and Medicine						
【授業のねらい】 本授業では、医学生の素養として必要な心理学的知識や態度を、講義や実践を通じて学ぶ。本授業を通じて受講生は、心理学的眼差しを、自分（professional な自分、personal な自分）にも、同僚にも、患者にも向けられるようになることを目指す。自身、他者、チームを「見立てる」「支援する」ことを通じて、心理学的視座をもつことの意味合いを考察していく。						
【具体的な到達目標】 (1) 学習を通して、自己を見立て支援するための知識や方法を身につける。 (2) 学習を通して、他者を見立て支援するための知識や方法を身につける。 (3) 学習を通して、チームを見立て支援するための知識や方法を身につける。						
【授業の内容】 1. オリエンテーション、心理学とは 2. ウェルビーイング 3. 臨床心理学における見立てと支援 4. 自己を見立てる①：援助の動機と自己理解 5. 自己を見立てる②：ストレスと対処法 6. 自己を支援する①：セルフケア 7. 自己を支援する②：アサーション				8. 要支援者を見立てる①：傾聴の技法 9. 要支援者を見立てる②：見立ての共有 10. 要支援者を支援する①：模擬事例の検討 11. 要支援者を支援する②：評価の検討 12. チームを見立てる①集団の心理学 13. チームを見立てる②多職種協働 14. チームを支援する①ピア・サポート：概説と企画 15. チームを支援する②ピア・サポート：実践と評価		
【アクティブラーニングの内容】 授業では、グループディスカッション、様々なペアワーク（ロールプレイ）やグループワークを行う。「ピア・サポート」は、状況的に可能であれば、企画した支援を実際に実践していきたい。						
【時間外学習の内容と時間の目安】 【準備学習】 参考文献や配布資料をもとに予習する。(15h) 【事後学習】 時間外にグループワークを行い、課題の準備を行う。(30h)						
【教科書】 特定の教科書は使用しない						
【参考書】 大川一郎・土田宣明・高見美保編著『基礎から学べる医療現場で役立つ心理学』ミネルヴァ書房、2020年、ISBN-13：978-4623070664 大竹恵子編著『保健と健康の心理学』ナカニシヤ出版、2016年、ISBN-13：978-4779511127						
【成績評価の方法及び評価割合】 レポート、質疑応答、出欠状況、受講態度などにより総合的に評価する。						
【注意事項】 受講生同士のやりとりの多い講義となる。講義に積極的にコミットする学生を歓迎する。進行状況やコロナの感染状況により授業内容を一部変更することがある。						
【備考】						

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	大分県スクールカウンセラー（高等学校）、臨床心理士、公認心理師	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	現場の経験と研究の成果から、健康に対する知見を紹介、自己や他者を見立て支援する方法を提示、討議し、受講生の理解を深める。実際に支援を立案し実践する方法を紹介し、実践的観点から学べる環境を作る。	